出土遺物観察表

—記載事項について—

挿図番号　遺構ごとの実測番号、図版番号を統一して示す。

器　　種　須恵器は形態的特徴から、蓋杯・高杯・壺・甕・瑳・提瓶等の従来の呼称を用いた。部分名称の場合は(　)で表示。鉄製品は形態、使用痕等の観察から、鉄刀・刀子・鉄鏃等の名称を用いた。

法　　量　土器……口径：①　底径：②　最大胴径：③　器高：④をcmで示す。なお、(　)は復元値。〈　〉は推定値。ただし目安としての径の残存が7分の1以下を推定値とした。

石製品・鉄製品……長さ：L　幅：W　厚さ：T　径：Dをcmで示す。(　)は現存値。

形態・手法の特徴　主要部分について記述した。土器については口縁部の内外面ヨコナデ調整を特別な場合以外は省略した。

胎土・焼成・色調

①　胎土　砂粒の大きさとその量を示す。

②　焼成　良好(堅緻)・良(普通)・やや不良(やや軟)・不良(軟)の4段階に分けた。

③　色調　主として外面の色調を示すが、内外面が異なる場合(外)・(内)で表示。

備　　考　赤彩、黒斑、釉の有無等を記載。鉄製品、玉類、石製品等は重量を記載。

(　)は現存値。

遺物登録番号　出土地を調査区分の通し番号で表示。遺物台帳登録番号。

—遺物実測中における表示—

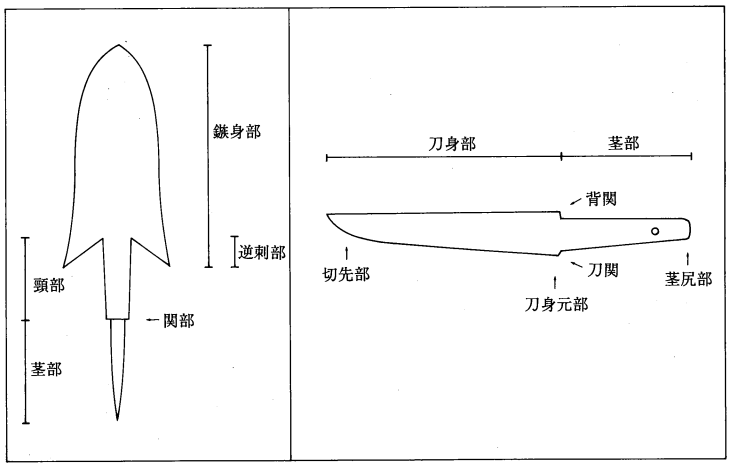
須恵器：黒塗り

遺物使用痕範囲：

土器実測図のヨコナデ調整による稜：

—土器の部分名称について—　部分名称を略す場合は頭文字を(　)で表示。

—鉄製品　部分名称—



円護寺５号墳（第９・10図、図版19・20）

挿図番号	器種	法量(cm) ①口径 ②底径 ③最大胴径 ④器高	形態・手法の特徴		①胎土 ②焼成 ③色調	残存状況	備考	遺物登録番号
1	須恵器 蓋杯 蓋	① 14.0 ② 4.6	口縁部は内湾し端部で内面に凹みを廻らす。 天井部はやや丸みをもつ。	(内外)ヨコナデ。 (外) 天井部回転ヘラ切り後軽いナデ、中心にヘラ起し痕。	①1～2㎜の砂粒を多く含む 3～5㎜の砂礫有 ②良 ③灰色	ほぼ完形	自然釉 1、2セットで出土 中に人骨、歯、鉄鏃片	42 51 62
2	須恵器 蓋杯 杯身	① 12.1 (受) 14.8 ④ 5.1	立上りは内傾して上方に伸び先細る。 受部は体部から伸びて外上方に納める。 底部に平坦面をもつ。	(内外)ヨコナデ。 (外) 底部回転ヘラ切り後ナデ。 (内) 底部周回するナデ。	①1㎜前後の砂粒を多く含む 4～9㎜の砂礫有 ②良 ③(外)淡橙褐色 灰色 (内)暗灰色	ほぼ完形		41 42
3	須恵器 蓋杯 蓋	① 14.7 ④ 4.1	口縁部は外方に伸び端部は丸い。 天井部は扁平気味。	(内外)ヨコナデ。 (外) 天井部1/2を逆時計廻りの粗なヘラ削り、中心ヘラ起し痕。	①1～2㎜の砂粒を含む ②良 ③(外)淡灰色 灰色(内)灰色	完形	自然釉	43
4	須恵器 蓋杯 蓋	① 13.0 ④ 3.8	口縁部は外方に伸び端部は丸い。 天井部は丸みをもつ。	(内外)ヨコナデ。 (外) 天井部3/4を逆時計廻りのカキ目。 (内) 天井部不定方向のナデ、円弧文工具痕。	①1㎜前後の砂粒を多く含む 4㎜の砂礫有 ②良 ③(外)灰色 暗灰色 (内)灰色	完形	自然釉	58
5	須恵器 蓋杯 蓋	① 13.2 ④ 4.4	口縁部は内湾し端部は丸い。 天井部は丸みをもつ。	(内外)ヨコナデ。 (外) 天井部4/5を逆時計廻りのカキ目。 (内) 天井部不定方向の軽いナデ。	①0.5㎜以下の砂粒を含む 3㎜の砂粒有 ②不良 ③(外)淡灰色 灰褐色 (内)淡褐色	ほぼ完形		36
6	須恵器 蓋杯 蓋	① 12.1 ④ 3.6	口縁部は内湾し端部は丸い。 天井部は丸みをもつ。	(内外)ヨコナデ。 (外) 天井部1/2を逆時計廻り後粗なヘラ削り。 (内) 天井部粗なナデ。	①1㎜前後の砂粒を多く含む ②良好 ③(外)灰色 青灰色 (内)灰色	ほぼ完形		60 61
7	須恵器 蓋杯 蓋	① 13.0 ④ 4.6	口縁部は内湾し端部は丸い。 天井部は丸い。	(内外)ヨコナデ。 (外) 天井部回転ヘラ切り後ナデ、中心にヘラ起し痕。 (内) 天井部一方行のナデ。	①1～2㎜の砂粒を含む 5㎜大の砂礫有 ②良 ③(外)灰色 淡灰色 (内)暗灰色	(天) 3/4 (口) 1		20 39 40 50 62
8	須恵器 蓋杯 蓋	① 13.1 ④ 4.5	口縁部は内湾し端部で下方に納め、端部は丸い。 天井部は丸みをもつ。	(内外)ヨコナデ。 (外) 天井部回転ヘラ切り後ナデ、中心にヘラ起し痕。後ヘラ描文を施す。 (内) 天井部一方行のナデ。	①1㎜以下の砂粒を含む ②良 ③(外)暗灰色 (内)淡青灰色	完形		45
9	須恵器 蓋杯 蓋	① 14.4 ④ 4.1	口縁部は内湾し端部で内面に凹みを廻らす。 天井部は平坦面をもつ。	(内外)ヨコナデ。 (外) 天井部回転ヘラ切り後軽いナデ、中心にヘラ起し痕。 (内) 天井部周回するナデ。	①1㎜以下の砂粒を含む ②良好 ③暗灰色 灰色	完形	自然釉	48
10	須恵器 蓋杯 蓋	① 13.6 ④ 5.2	口縁部は外方に開き端部で内面に凹みを廻らす。 天井部は丸みをもつ。	(内外)ヨコナデ。 (外) 天井部回転ヘラ切り後軽いナデ、中心にヘラ起し痕。	①1㎜前後の砂粒を多く含む ②良 ③(外)褐灰色 青灰色 (内)灰色 暗灰色	完形		49 62
11	須恵器 蓋杯 杯身	① 〈12.5〉 (受) 14.7 ④ 4.1	立上りは２より短く内傾して先細る。 受部は体部から伸び外上方に納める。 体部は丸みをもつ。	(内外)ヨコナデ。 (外) 体部2/3を逆時計廻りのヘラ削り。 (内) 底部不定方向のナデ。	①3～4㎜の砂粒を含む 13、16㎜大の砂礫有 ②良 ③淡灰色	(口) 1/8 (体) 1		44
12	須恵器 蓋杯 杯身	① 11.9 (受) 14.4 ④ 4.4		(内外)ヨコナデ。 (外) 体部ヘラ切り、その外周を時計廻りのヘラ削り２回転とし、中央部にヘラ起し痕を残す。 (内) 底部不定方向のナデ、同心円文工具痕。	①1㎜前後の砂粒を多く含む ②良 ③(外)淡灰色 (内)灰色	ほぼ完形		37
13	須恵器 蓋杯 杯身	① 12.3 (受) 14.1 ④ 3.4		(内外)ヨコナデ。 (外) 体部回転ヘラ切り、その外周を時計廻りのヘラ削り３回転とし、中央部にヘラ起し痕を残す。 (内) 底部不定方向のナデ、同心円文工具痕。	①1㎜前後の砂粒を多く含む 2㎜の砂粒有 ②良 ③(外)淡青灰色 灰色 (内)淡青灰色	ほぼ完形		38
14	須恵器 蓋杯 杯身	① 11.5 (受) 14.1 ④ 4.1		(内外)ヨコナデ。 (外) 体部回転ヘラ切り後軽いナデ。底部にヘラ描文を施す。中心にヘラ起し痕。 (内) 底部不定方向のナデ。	①1㎜前後の砂粒を含む ②良 ③(外)灰色 (内)淡青灰色	完形	自然釉	47
15	須恵器 蓋杯 杯身	① 11.7 (受) 14.5 ④ 4.2		(内外)ヨコナデ。 (外) 体部回転ヘラ切り後ナデ。中心にヘラ起し痕。 (内) 底部不定方向のナデ。	①1㎜前後の砂粒を含む 4、5㎜大の砂礫有 ②良 ③灰色	(口) 1部欠 (体) 1		46
16	須恵器 蓋杯 杯身	① 11.4 (受) 13.7 ④ 4.6		(内外)ヨコナデ。 (外) 体部回転ヘラ切り後ナデ。中心にヘラ起し痕。	①1㎜前後の砂粒を含む 3㎜の砂粒有 ②良 ③(外)灰色 淡灰色 (内)灰色	(口) 3/4 (体) 1		55 61

円護寺５号墳（第10・13図、図版20・21）

挿図番号	器種	法量(cm) ①口径 ②底径 ③最大胴径 ④器高	形態・手法の特徴		①胎土 ②焼成 ③色調	残存状況	備考	遺物登録番号
17	須恵器 蓋杯 杯身	① 12.0 (受) 13.8 ② 6.6 ④ 3.8	立上りは内傾して上方に納め端面をもつ。 受部は体部から伸び外上方に納める。 体部は底部に平坦面をもつ。	(内外)ヨコナデ。 (外) 体部回転ヘラ切り後ナデ。 (内) 底部不定方向のナデ。	①1㎜前後の砂粒を多く含む 4㎜の砂礫有 ②良 ③淡灰色	ほぼ完形		59
18	須恵器 長頸壺	①長 10.2 短 8.5 ② 8.0 ③ 12.8 ④ 19.0	口縁部は内湾して上方に伸びて細り端面をもつ。 体部中上位に最大径をもち底部は平坦面をもつ。 口縁部に１条、肩部に２状の沈線を廻らす。	(内外)口頸部、体部ヨコナデ成形後接合。 (外) 口頸部カキ目。体部下半回転ヘラ削り。 接合の後、頸部ヨコナデとしカキ目が薄れる。 (内) 頸部ナデ。底部ナデ、指頭圧痕。 口頸部内面にヘラ描き文を施す。 口縁部に工具痕。	①1㎜前後の砂粒を含む ②良 ③乳灰色	完形	口縁部歪	56
19	須恵器 瓶	① 17.7 ③ 10.1 ④ 17.6	口頸部はラッパ状に開き口縁部で更に開いて、複合口縁とし端面をもつ。 体部の中上位に最大径と円孔１をもつ。 口径は体部径より大きい。	(内外)口頸部、体部ヨコナデ成形後接合。 (外) 底部回転ヘラ削り。 (内) 底部ナデ。 頸部内面に接合時の捩じれ痕。	①2㎜の砂粒を多く含む 4㎜大の砂礫有 ②良好 ③青灰色 灰色	完形		53
20	須恵器 瓶	① 13.8 ③ 11.0 ④ 17.1	口頸部はラッパ状に開き口縁部で更に開いて、複合口縁とし凹端面をもつ。 体部は楕円形状を呈し、中位に最大径と円孔１をもつ。 頸部と肩部に１回転半の沈線を廻らす。 口径は体部径より大きい。	(内外)口頸部、体部ヨコナデ成形後接合。 (外) 口縁端面に１条の沈線後軽いヨコナデ。 口頸部カキ目。体部下半回転ヘラ削りとした後接地面外周を逆方向のヘラ削り２回転。 肩部外面にヘラ描き文を施し縦４条横２条が交差する。	①1～2㎜の砂粒を多く含む 5㎜大の砂礫有 ②やや不良 ③乳灰色	完形		54 61
21	須恵器 提瓶	① 8.4 ③ 14.4 10.9 ④ 19.2	口頸部は外反して開き端部は面をもつ。 体部は表面で円形。側面は表面凸状、背面扁平を呈する。肩部に形式化した把手が１部残り対面は剥離痕。	(内外)口頸部、体部成形の後体部側面に口縁部を接合。接合部内面はナデ。 体部 平坦面を下にしてヨコナデ成形後ふくれ面に円盤充填とする。 (外)ふくれ面ナデ後カキ目。平坦面回転ヘラ削り、中心に成形時のナデ、圧痕が残る。 (内)平坦面指ナデ。	①1～2㎜の砂粒を含む 3㎜の砂粒有 ②やや不良 ③淡灰褐色	ほぼ完形		57
22	軽石	L 8.4 W (6.4) T 2.4	扁平な形状	割れ面以外は全面に使用痕 使用頻度が高い。	②乳灰色	１部 欠	(15.8)g 気泡有	35
45	須恵器 有蓋高杯	① 12.3 (受) 14.6 ② 10.9 ④ 8.8	杯部立上りは内傾し上方に納める。 受部は体部から屈曲して伸び水平気味に納める 杯体部は丸みをもつ。 脚部は内湾して開き接地面をもつ。	杯部、脚部成形の後接合。 杯部 (内外)ヨコナデ。 (外)杯底部逆時計廻りのヘラ削り、脚部と接合部はヨコナデ。 脚部 (内外)ヨコナデ。	①1㎜前後の砂粒を多く含む 8㎜の砂礫有 ②良好 ③(外)黒色 灰色 (内)青灰色 (断)セピア色	ほぼ完形		2 18 26
46	須恵器 蓋杯 蓋	① 14.2 ④ 3.7	口縁部は内湾し外方へ伸びる。端部は46が凸面、47は丸い。 天井部は扁平。	(内外)ヨコナデ。 (外) 天井部回転ヘラ切り、後逆時計廻りのヘラ削りをし外周を軽いカキ目。	①1㎜前後の砂粒を多く含む 2㎜の砂粒有 ②良 ③(外)暗灰色 灰色 (内)灰色	ほぼ完形		28
47	須恵器 蓋杯 蓋	① 14.2 ④ 3.5		(内外)ヨコナデ。 (外) 天井部回転ヘラ切り、後その外周を時計廻りのヘラ削り２～３回転とし中心にヘラ起し痕。 (内) 天井部に円弧文工具痕。	①1～2㎜の砂粒を多く含む 6㎜の砂礫有 ②良 ③(外)暗灰色 (内)灰色	ほぼ完形	自然釉	28
48	須恵器 蓋杯 蓋	① 〈13.3〉 ④ 4.0	口縁部は内湾し外方へ伸び端部は丸い。 天井部は丸みをもつ。	(内外)ヨコナデ。 (外) 天井部回転ヘラ切り、後その外周を逆時計廻りのヘラ削り２回転。 (内) 天井部に円弧文工具痕。	①1㎜前後の砂粒を含む ②良 ③青灰色	(口) １部 (天) 1/2		1 16 22
49	須恵器 蓋杯 蓋	① 13.0 ④ 3.8	口縁部は内湾し下方へ伸び端部で内面に凹みを廻らす。 天井部はやや丸みをもつ。	(内外)ヨコナデ。 (外) 天井部ヘラ切り後ナデ。中心部にヘラ起し痕。 (内) 回転するナデ。	①1㎜前後の砂粒を多く含む 3㎜の砂粒有 ②良 ③(外)灰色 暗灰色 (内)灰色 青灰色	ほぼ完形	自然釉	24
50	須恵器 蓋杯 蓋	① 13.6 ④ 4.6	口縁部は内湾し下方へ伸び端部丸い。 天井部は平坦面をもつ。	(内外)ヨコナデ。 (外) 天井部回転ヘラ切り後その外周をナデ。 (内) 天井部周回するナデ。	①0.5㎜以下の砂粒を多く含む 1㎜の砂粒有 ②良 ③(外)黒色 灰色 (内)青灰色	ほぼ完形	自然釉	14

円護寺５号墳（第13図）

挿図番号	器種	法量(cm) ①口径 ②底径 ③最大胴径 ④器高	形態・手法の特徴		①胎土 ②焼成 ③色調	残存状況	備考	遺物登録番号
51	須恵器 (脚部)	② 13.3	脚部はハの字状に開き端面をもつ。 方形状の透し窓をもつ。	(内外)ヨコナデ。 (外) カキ目後裾部軽いヨコナデ。 透し窓は２方向を観察、３方向の可能性。	①１㎜前後の砂粒を多く含む ②良 ③(外)灰褐色 暗青灰色 (内)灰褐色	上半 1/4 下半 1/2		23
52	須恵器 有蓋高杯 (杯部)	① (13.8) (受)(16.0)	立上りは内傾して上方へ納め端部は丸い。 体部はやや丸みをもつ。	(内外)ヨコナデ。 (外) 杯底部時計廻りのヘラ削り。	①１～２㎜の砂粒を含む ３㎜の砂粒有 ②良 ③(外)灰色 (内)淡灰色	(杯) 1/6		16 22
53	須恵器 有蓋高杯 (脚部)	② (10.4)	脚部はラッパ状に開き端部で内面に凹みを廻らす。 裾部に工具による２条の沈線。三角形の透し窓。	(内外)ヨコナデ。 透し窓は３方向。	①１㎜前後の砂粒を含む ②良 ③(外)黒色 灰色 (内)灰色	上半 1 下半 1/3		8

円護寺６号墳（第18図、図版22）

1	須恵器 蓋杯 蓋	① 14.7 ④ 4.8	口縁部はやや内湾して外方に開き端部で内面に段をもつ。 天井部は丸みをもつ。 １条の鈍い稜線で天井部とを分ける。	(内外)ヨコナデ。 (外) 天井部回転ヘラ切り後その外周を逆時計廻りのヘラ削り２回転。中心にヘラ起し痕。	①１～２㎜の砂粒を含む ②良好 ③灰色	完形		3
2	須恵器 蓋杯 杯身	① 12.8 (受) 15.4 ④ 4.8	立上りは直線的に内傾し端部は丸い。 体部は丸みをもつ。	(内外)ヨコナデ。 (外) 底部外周を逆時計廻りのヘラ削り２回が明瞭、中心部は自然釉により不明ながら中心にヘラ起し痕。	①２～３㎜の砂粒を含む ②良好 ③灰色	完形	自然釉	2

円護寺７号墳（第22図）

1	須恵器 蓋杯 杯身	① 12.8 (受) 15.2 ④ 4.5	立上りは内傾し端面をもつ。 体部は平坦面をもつ。	(内外)ヨコナデ。 (外) 体部1/2を逆時計廻りのヘラ削り。 (内) 底部に円弧文工具痕。	①１～２㎜の砂粒を多く含む ②不良 ③灰色	ほぼ完形		12
2	須恵器 蓋杯 杯身	(受)(15.7)	体部は丸みをもつ。	(内外)ヨコナデ。底部風化により不明瞭。 (外) 体部1/2を逆時計廻りのヘラ削り。	①１～２㎜の砂粒を含む ②不良 ③灰褐色	(受) 1/4 (体) 1/2		13
3	須恵器 蓋杯 杯身	① 〈12.2〉 (受)〈14.5〉	立上りは直線的に内傾し端部で内面に段をもつ。 体部は丸みをもつ。	(内外)ヨコナデ。 (外) 体部2/3を逆時計廻りのヘラ削り。	①１～２㎜の砂粒を多く含む 4.5㎜大の砂礫有 ②良好 ③灰色	(口) 1/10 (体) 1/5		2 4 10

円護寺８号墳（第29・32図、図版22）

1	須恵器 蓋杯 蓋	① 14.8 ④ 4.3	口縁部はわずかに外方へと開き端部は内面に段をもつ。 天井部は丸みをもつ。 １条の鈍い稜線により天井部とを分ける。	(内外)ヨコナデ。口縁端部は１条の沈線後ヨコナデ。 (外) 天井部２/３を逆時計廻りのヘラ削り。 中央部にヘラ起し痕。	①１㎜前後の砂粒を多く含む ②良 ③灰色	完形		44
2	須恵器 蓋杯 杯身	① 12.8 (受) 15.8 ④ 5.1	立上りは直線的に内傾して端部で内面に段をもつ。 受部は体部から伸び外上方へ納める。 体部は丸みをもつ。	(内外)ヨコナデ。口縁端部は１条の沈線後ヨコナデ。 (外) 底部1/2を逆時計廻りのヘラ削り。 (内) 底部中央部不定方向のナデ、後その外側を周回するナデ。	①１～２㎜の砂粒を多く含む ３㎜大の砂粒有 ②良好 ③青灰色	完形	自然釉	45
18	須恵器 壺	① 〈16.0〉 ③ (19.6)	口縁部は端部で大きく外反して開き外面に段をもつ。 体部は球形状。体部中上位に最大径をもつ。	(内外)ヨコナデ。 (外) 体部下半平行叩き目、後上半ヨコナデ。 (内) 体部下半円弧文当て工具痕、後上半ヨコナデ。	①２㎜以下の砂粒を含む ５㎜大の砂礫有 ②良好 ③灰色	(口) 1/10 (体) 1/3		5 17,18 20~23 25,26 29~33
19	土師器 高杯	① (11.7) ② 7.0 ④ 8.8	杯口縁部は外傾し端部は細る。 脚部はハの字状に開き上半は実入りとする。	杯部 (内外)ハケ目後ナデ。 脚部 (外)ハケ目。 (内)ヘラ削り後ナデ。 指成形痕を観察。	①１㎜以下の砂粒を多く含む ３㎜大の砂粒有 ②良好 ③黄褐色	(口) 1/2 (脚) 1	赤彩	7 36
20	土師器 把手付椀	① 13.3 ② 4.6 ④ 10.1	椀状の体部から上方へと立上がり口縁部でつまみ端部は細る。角状の把手１をもつ	(外) 把手は手捏ね成形後体部と接合後ナデ。体部ハケ目、成形痕が残る。 (内) 丁寧なヘラ削り後軽いナデ。	①２㎜前後の砂粒を多く含む ②良 ③褐色 褐灰色	ほぼ完形	赤彩	59
21	土師器 高杯	① (6.7) ② 4.5 ④ 9.0	小型でカップ状。口縁端部は先細る。 脚部はやや外反気味に開き、上半は実入り。	(内外)指成形後ナデ。 杯部 (内)工具ナデ、後底部ナデ。 脚部 (外)縦方向の工具成形後ナデ。 (内)指ナデ、工具痕、接地面工具ナデ。	①0.5㎜以下の砂粒を含む ②良 ③黄褐色	(杯) 1/4 (脚) 1	赤彩	60 61

挿図番号	器種	法量(cm) ①口径 ②底径 ③最大胴径 ④器高	形態・手法の特徴		①胎土 ②焼成 ③色調	残存状況	備考	遺物登録番号
22	土師器 (脚部)	②　(7.3)	脚部はハの字に開き端部は先細る。	(内外)ハケ目後ナデ。	①0.5㎜以下の砂粒を含む ②良好　③黄褐色	(脚)　1/4	赤彩	14
23	須恵器 蓋杯 蓋	①〈12.8〉 ④　(4.2)	口縁部はわずかに外方へと開き端部は内面に段をもつ。 1条の鈍い稜線により天井部とを分ける。	(内外)ヨコナデ。口縁端部は1条の沈線後ヨコナデ (外)　天井部2/3を逆時計廻りのヘラ削り。	①1㎜前後の砂粒を多く含む ②良　③灰色	1/8		8 9 32

円護寺40号墳（第35図、図版23・24）

1	須恵器 蓋杯 杯身	①　12.4 (受) 15.4 ④　4.8	立上りは直線的に内傾し端部は丸みをもつ。 受部は体部から屈曲して水平気味に納める。 体部は丸みをもつ。	(内外)ヨコナデ。 (外)　体部2/3を逆時計廻りのヘラ削り。 (内)　底部不定方向のナデ。	①1㎜前後の砂粒を多く含む 4㎜大の砂礫有　②良好 ③淡青灰色	ほぼ完形		37
2	須恵器 蓋杯 杯身	①　12.8 (受) 15.5 ④　5.5	立上りは内傾して上方に納め、端部は丸みをもつ。 受部は体部から屈曲して水平気味に納める。 体部は丸みをもつ。	(内外)ヨコナデ。 (外)　底部回転ヘラ切り、後体部1/2を時計廻りのヘラ削り。 (内)　底部一方向のナデ。	①1㎜前後の砂粒を多く含む 3～5㎜大の砂礫有 ②良　③灰色	ほぼ完形		38
3	須恵器 壺	①　11.8 ③　13.6 ④　14.7	口縁部は外反して開き端部は外面に段をもつ。 口縁端面に1条の沈線がめぐる。体部は肩部が張出し底部は丸みをもつ。	(内外)ヨコナデ。 (外)　底部回転ヘラ削り。 (内)　頸部ナデ。底部ナデ。	①1～2㎜の砂粒を含む ②良好 ③(外)青灰色　灰色　(内)灰色	完形	自然釉	39
4	須恵器 有蓋壺 蓋	①　10.4 ④　3.6	口縁部は下方に伸び端部で内面に段をもつ。 天井部は丸みをもつ。	(内外)ヨコナデ。 (外)　天井部2/3を時計廻りのヘラ削り。 (内)　天井部周回するナデ。	①1～2㎜の砂粒を多く含む 4～5㎜大の砂礫有 ②良好　③灰色	完形	5とセットで出土	40
5	須恵器 有蓋壺	①　8.8 ③　15.4 ④　9.5	口縁部は内傾して短く立ち上がり端部は丸い。 肩部は極端に張出し底部方向へ内湾して窄まり底面をもつ。 肩部に2条の沈線をもつ。	(内外)ヨコナデ。 (外)　底部回転ヘラ削り。 肩部外面には焼成時にセット焼きした蓋の痕を観察し、口径12cm程と推察する。	①1～3㎜の砂粒を多く含む 4～6㎜大の砂礫有　②良 ③(外)淡灰色　暗灰色 (内)灰色	ほぼ完形	4とセットで出土	40

円護寺42号墳（第44・45・46図、図版24）

1	土師器 高杯	①　12.8 ②　(7.5) ④　8.7	椀状の杯部。口縁端部をつまむ。脚部はハの字状に開き端部方向へ細る。	杯部　(外)ハケ目後ナデ。 (内)ナデ。 脚部　(内外)指成形後ナデ。	①1～2㎜の砂粒を多く含む 3、7㎜大の砂礫有 ②良　③黄橙色	(杯)　4/5 (脚)　1/4	赤彩 黒斑有	16
2	土師器 高杯	①　12.5	椀状の杯部。口縁端部をつまむ。	杯部　(外)ハケ目後ナデ。 (内)ナデ。 脚部　(内外)指ナデ。	①1㎜前後の砂粒を多く含む 2～3㎜の砂粒有 ②良　③黄橙色	(杯)　3/4	赤彩	15
3	土師器 (杯部)	①　13.6		(内外)ナデ。成形時の圧痕。	①1㎜前後の砂粒を多く含む ②良　③黄橙色	(杯)　1	赤彩 黒斑有	17
15	須恵器 甕	①　21.6 ③　46.2 ④　47.0	口頸部は外反して開き端部は肥厚し凸面をもつ。 体部中位に最大径をもつ。	(外)　体部平行叩き目、後上半軽いカキ目。 (内)　同心円当て工具で肩部と底部は同心円文、胴部は青海波文に当てる。後に体部ナデとし底部は丁寧なナデ。 底部外面に他の体部小片を配して焼台とした可能性あり2ケ所に残存、他に剥離痕を観察。	①4㎜以下の砂粒を多く含む 6㎜大の砂礫有　②良 ③暗灰色	ほぼ完形	体部歪	1 2 7 8 13 14 18
16	須恵器 蓋杯 蓋	①〈15.8〉	口縁部は外方に開き端部で内側に段をもつ。 天井部は丸みをもつ。 1条の鈍い稜線により天井部とを分ける。	(内外)ヨコナデ。 (外)　天井部1/2を逆時計廻りのヘラ削り。 (内)　天井部中央に円弧文工具痕。	①1㎜前後の砂粒を含む ②良 ③(外)暗灰色　(内)灰色	1/8		5
17	須恵器 蓋杯 杯身	①　11.6 ④　5.2	立上りは直線的に内傾し端部で内側に段をもつ。 体部は丸みをもつ。	(内外)ヨコナデ。 (外)　体部1/2を時計廻りのヘラ削り。 (内)　底部周回するナデ。	①1～2㎜の砂粒を多く含む 7㎜大の砂礫有 ②良　③淡褐色	ほぼ完形		11

5号墳出土鉄製品(1)(第11図)

(cm)

出土地	挿図番号	器種	全長	法量 刀部 長さ	刀部 断面形	茎部 長さ	茎部 断面形	断面 計測部位	断面 幅	断面 厚さ	形態の特徴	残存状況	備考	遺物登録番号
石棺内	23	刀子	(11.40)	(5.62)	二等辺三角形	(5.78)	長方形状	刀身元部 茎部責金具 茎中央部	1.35 (1.85) 0.70	0.45 0.20 0.35	両関をもち茎元部には責金具が残る。	切先部欠	(17.1)g 木質痕	63
	24	刀子	10.55	5.25	二等辺三角形	5.30	長方形状	刀身中央部 切先部 茎中央部	0.95 0.76 0.60	0.30 0.15 0.25	切先は丸く、背関をもつ。	完存	9.23g 木質痕	46 72 78
	25	刀子	(6.75)	(2.80)	二等辺三角形	3.95	長方形状	刀身中央部 茎元部	0.82 0.70	0.30 0.35	両関をもつ。	切先部欠	(6.05)g 木質痕	71 76
	26	刀子	(5.93)	(1.48)	二等辺三角形	4.45	長方形状	茎中央部	0.61	0.25	背関をもつ。	刀身部欠	(5.47)g 木質痕	69 70
埋土中	27	刀子	(7.50)	(0.60)	二等辺三角形	6.90	長方形状	茎中央部	0.65	0.30	両関をもつ。	茎部	(7.97)g 木質痕	80

5号墳出土鉄製品(2)(第11図)

出土地	挿図番号	器種	全長 ①鏃身部 ②頸部 ③茎部	鏃身部 平面形 断面形	鏃身部 断面計測部位 W 幅 T 厚さ	鏃身部 逆刺長	頸部 関部平面形 断面形	頸部 断面計測部位 W 幅 T 厚さ	茎部 断面形	茎部 断面計測部位 W 幅 T 厚さ	形態の特徴	残存状況	備考	遺物登録番号
石棺内	28	鉄鏃	(9.60) ① 5.85 ②(3.90) ③(0.90)	腸抉三角形 平造	中央部 2.45 0.22	(1.00)	台形 長方形	中央部 0.70 0.30	長方形	元部 0.70 0.35	鏃身は中央部で除々に幅を増しながら逆刺へ続く。	尖端部欠	(17.0)g	64
	29	鉄鏃	(7.70)	腸抉三角形 平造	先端部 2.83 0.20		長方形	元部 0.75 0.23			鏃身は中央部で徐々に幅を増しながら逆刺へ続く。	鏃身部	(15.5)g	77 78
	30	鉄鏃	(2.70)	平造	先端部 2.15 0.18							鏃身部	(2.7)g	74
	31	鉄鏃	(8.05) ①(3.10) ② 2.20 ③ 2.75	平造	元部 2.20 0.20		直線状 長方形	中央部 0.71 0.28	方形	元部 0.35 0.31		先端部欠	(6.7)g 木質痕 巻締痕	75
	32	鉄鏃	(9.20) ①(4.60) ② 3.00 ③(1.60)	平造	端部 2.60 0.26		直線状 長方形	元部 0.80 0.50	方形	元部 0.60 0.50	鏃身は中央部で幅を減らす。	先端部欠 尖端部欠	(15.5)g 木質痕	42 68
	33	鉄鏃	(7.60) ②(2.60) ③ 5.00				台形 長方形	関部 0.68 0.42	方形	中央部 0.25 0.21		鏃身部欠	(5.4)g 木質痕	65 78
	34	鉄鏃	(6.90) ②(2.30) ③(4.60)				台形 長方形	端部 0.65 0.38	方形	中央部 0.50 0.30		鏃身部欠	(6.3)g 木質痕	67 78 79
	35	鉄鏃	(4.59) ②(2,39) ③(2.20)				台形 長方形	端部 0.80 0.30	長方形	元部 0.50 0.21		鏃身部欠 尖端部欠	(3.93)g 木質痕	48
	36	鉄鏃	(3.80)									茎部	(6.27)g 木質痕	61
	37	鉄鏃	(5.95) ③(5.85)						方形	中央部 0.35 0.35		茎部	(3.05)g 木質痕	67

8号墳出土鉄製品(1)(第29・31図)

(cm)

出土地	挿図番号	器種	全長	法量 刀部 長さ	刀部 断面形	茎部 長さ	茎部 断面形	断面 計測部位	断面 幅	断面 厚さ	形態の特徴	残存状況	備考	遺物登録番号
第1主体部	3	直刀	102.60	82.05	二等辺三角形	20.55	長方形状	刀身元部 刀身中央部 刀身切先部 茎尻部	3.80 3.70 3.20 1.90	0.80 0.70 0.60 0.75	刀身は元部から切先部に向けて幅、厚を減らす。切先は丸い。刃関は角度をもつ。茎尻部に目釘孔1を観察。鞘と柄の木質が残る。	ほぼ完存	(1100)g	46
	4	刀子	(9.3)	(9.3)	二等辺三角形			刀身端部 刀身切先部	1.50 1.14	0.26 0.20	刀身は元部から切先部に向けて幅、厚を減らす。	切先部欠 茎部 欠	(13.1)g	43
第2主体部	13	刀子	(11.2)	8.30	二等辺三角形	(2.90)	長方形状	刀身元部 刀身切先部	1.68 1.07	0.34 0.20	刀身元部から切先方向へと幅、厚を減らす。両関をもつ。	茎尻部欠	(13.3)g	58

8号墳出土鉄製品(2)(第29・30・31図)

出土地	挿図番号	器種	全長 ①鏃身部 ②頸部 ③茎部	鏃身部 平面形 断面形	鏃身部 断面計測部位 W 幅 T 厚さ	逆刺長	頸部 関部平面形 断面形	頸部 断面計測部位 W 幅 T 厚さ	茎部 断面形	茎部 断面計測部位 W 幅 T 厚さ	形態の特徴	残存状況	備考	遺物登録番号
第1主体部	5	鉄鏃	17.10 ① 7.20 ② 3.00 ③ 8.10	腸抉柳葉形 平造	中央部 2.45 0.22	1.20	台形 長方形	関部 0.70 0.45	方形	中央部 0.25 0.20	鏃身はふくらをもち徐々に幅減とし逆刺で外反する。茎部は糸状紐により交差する巻締めの後柄木質に覆われ、更に柄上端に横位の巻締め痕を観察。	ほぼ完存	(22.5)g	48
	6	鉄鏃	(14.70) ① 9.70 ② 3.00 ③(3.80)	腸抉柳葉形 平造	中央部 2.95 0.22	1.60	台形 長方形	関部 1.00 0.40	方形	端部 0.35 0.30	鏃身はふくらをもち徐々に幅減とし逆刺で外反する。茎部の柄木質上端に横位の巻締め痕を観察。	茎端部欠	(31.3)g	48
	7	鉄鏃	13.10 ① 6.10 ② 4.70 ③(3.40)	腸抉三角形 平造	中央部 2.80 0.20	1.00	台形 長方形	関部 1.00 0.35	方形	中央部 0.25 0.25	鏃身はふくらをもちほぼ同一幅とし逆刺で外反する。茎部の柄木質上端に横位の巻締め痕を観察。	ほぼ完存	(22.7)g 銹化膨張	48
	8	鉄鏃	(12.95) ①(1.80) ②(9.30) ③(1.85)	三角形 片丸造	中央部 1.00 0.17		台形 長方形	中央部 0.50 0.25	方形		茎部の柄木質上端に横位の巻締め痕を観察。	先端部欠 茎部 欠	(9.1)g	47 52
	9	鉄鏃	(13.80) ① 2.40 ② 8.15 ③(3.25)	三角形 片丸造	中央部 0.90 0.24		台形 長方形	中央部 0.50 0.30	方形	端部 0.25 0.20	茎部の柄木質上端に横位の巻締め痕を観察。	茎端部欠	(12.0)g	47 51
	10	鉄鏃	12.70 ① 4.20 ② 5.10 ③(3.60)	腸抉長三角形 片丸造	先端部 1.10 0.18	0.30	(台形) 長方形	関部 0.70 0.35	方形	中央部 0.28 0.15	鏃身は中央部で僅かに幅を増しながら逆刺へ続く。茎部の柄木質上端に横位の巻締め痕を観察。	茎端部欠	(9.8)g	50
	11	鉄鏃	(10.35) ①(3.15) ②(5.35) ③(1.85)	腸抉長三角形 (三角形)	中央部 0.85 0.20	(0.40)	(台形) 長方形	関部 0.65 0.30	方形	端部 0.30 0.25	鏃身は先端から幅を増しながら逆刺へ続く。茎部の柄木質上端に横位の巻締め痕を観察。	先端部欠 茎端部欠	(7.1)g	49
	12	鉄鏃 無茎鏃	4.90 ① 4.90	長三角形 平造	中央部 1.45 0.15	0.55					鏃身は先端から幅を増しながら逆刺へ続く。鏃身中央部に両面から挟んだ装着木質が残る。	ほぼ完存	(4.5)g	53
第2主体部	14	鉄鏃	(13.95) ①(5.35) ② 4.75 ③(4.45)	腸抉柳葉形 平造	元部 2.80 0.23	(0.55)	台形 長方形	中央部 0.68 0.30	方形	端部 0.35 0.30	鏃身はふくらをもち徐々に幅減とし逆刺へ続く。茎部の柄木質上面に横位の巻締め痕を観察。	鏃身部1部 欠 茎端部欠	(18.7)g	54 57
	15	鉄鏃	15.70 ① 2.00 ② 8.50 ③ 5.20	三角形 平造	中央部 1.00 0.15		台形 長方形	中央部 0.58 0.34	方形	端部 0.24 0.18	茎部の柄木質上端に横位の巻締め痕を観察。	ほぼ完存	(9.6)g	55
	16	不明 鉄製品	(4.50)						輪状		鉄を薄く伸ばして円錐状に巻き接ぎ合わせとする。	1部	(5.2)g	57
	17	不明 鉄製品	(3.60)						輪状		鉄を薄く伸ばして円錐状に巻き接ぎ合わせとする。	1部	(3.7)g	56

41号墳出土鉄製品（1）（第37図）

(cm)

出土地	挿図番号	器種	全長	法量 刀部 長さ	刀部 断面形	茎部 長さ	茎部 断面形	断面 計測部位	断面 幅	断面 厚さ	形態の特徴	残存状況	備考	遺物登録番号
主体部	1	(刀子)	(2.05)	(2.05)	二等辺三角形			刀身端部	0.69	0.15	切先は丸い。	切先部	(0.74)g	5
	2	刀子	(7.70)		二等辺三角形		長方形	刀身中央部	0.77	0.18	刀身元部は両関の可能性。刀身は刃側で元部から極端に幅を減らす。	切先部欠	(7.37)g 木質痕	9

41号墳出土鉄製品（2）（第37図）

出土地	挿図番号	器種	全長 ①鏃身部 ②頸部 ③茎部	鏃身部 平面形	鏃身部 断面形	鏃身部 断面計測部位 W T 幅 厚さ	鏃身部 逆刺長	頸部 関部平面形	頸部 断面形	頸部 断面計測部位 W T 幅 厚さ	茎部 断面形	茎部 断面計測部位 W T 幅 厚さ	形態の特徴	残存状況	備考	遺物登録番号
主体部	3	鉄鏃	(6.95) ①4.85 ②(3.20)	腸抉長三角形	平造	先端部 1.24 0.20	1.10		長方形	中央部 0.60 0.30			鏃身先端部から幅を増しながら逆刺へと続く。	茎部欠	(7.5)g	2 8
	4	鉄鏃	12.75 ①4.13	腸抉長三角形	片丸造	中央部 0.90 0.15	0.20				方形	尖端部 0.24 0.22	鏃身中央部はほぼ一定幅とした後逆刺へと続く。	完存	(7.56)g 木質痕	10 11
	5	鉄鏃	(5.76) ②(5.76)											頸部	(6.34)g	3
	6	鉄鏃	(8.35) ②(5.35) ③(3.00)							端部 0.62 0.36	方形	端部 0.48 0.32	関部膨張破裂により不明瞭。	頸部 茎部	(5.73)g	6
	7	鉄鏃	(3.70) ②(3.30) ③(0.40)					台形	長方形	端部 0.50 0.30	長方形			頸部	(2.6)g	4
	8	鉄鏃	(3.60) ②(3.60)						長方形	上端部 (0.55) (0.31)				頸部	(3.55)g	7

42号墳出土鉄製品（1）（第44図）

出土地	挿図番号	器種	全長	法量 刀部 長さ	刀部 断面形	茎部 長さ	茎部 断面形	断面 計測部位	断面 幅	断面 厚さ	形態の特徴	残存状況	備考	遺物登録番号
主体部	12	直刀	105.20	85.70	二等辺三角形	19.50	長方形状	刀身元部 刀身中央部 刀身切先部 茎部中央部	4.08 3.90 2.80 2.38	1.00 0.80 0.60 0.76	刀身は元部から切先部に向けて幅、厚を減らす。切先は丸い。刃関は角度をもつ。茎部に目釘孔3を観察。鞘と柄の木質が残る。	完存	1109g	40

42号墳出土鉄製品（2）（第44図）

出土地	挿図番号	器種	全長 ①鏃身部 ②頸部 ③茎部	鏃身部 平面形	鏃身部 断面形	鏃身部 断面計測部位 W T 幅 厚さ	鏃身部 逆刺長	頸部 関部平面形	頸部 断面形	頸部 断面計測部位 W T 幅 厚さ	茎部 断面形	茎部 断面計測部位 W T 幅 厚さ	形態の特徴	残存状況	備考	遺物登録番号
主体部	13	鉄鏃	(11.18) ①6.70	腸抉柳葉形	平造	中央部 2.70 0.25	0.80		長方形	元部 0.70 0.25			鏃身先端部はふくらをもち僅かに幅減とした後逆刺で外反する。	茎部欠	(18.85)g 木質痕 巻締痕	19 20
	14	鉄鏃	(11.50) ①4.00	腸抉長三角形	平造	先端部 1.03 0.18			長方形	関部 0.52 0.30	方形	端部 0.28 0.26	鏃身は中央部で僅かに幅を増しながら逆刺へ続く。鏃身部の布目は二重に残る。	尖端部欠	(9.15)g 木質痕 巻締痕 布目痕	21

出土玉類表　5号墳（第12図）

挿図番号	種類	長さ(mm)	径(mm)	孔径(mm)		穿孔	色　調	重量(g)	材質	残存状況	備考	遺物登録番号
38	丸　玉	4.80	5.30	1.30			淡灰褐色	0.14	土製	完存		32-1
39	小　玉	3.65	4.80	1.30			淡緑灰色 半透明	0.09	ガラス	完存	気泡有	33-1
40	小　玉	2.20	3.30	1.10			青灰色 半透明	0.03	ガラス	完存	気泡有	29
41	小　玉	2.20	4.40	1.40			緑灰色 半透明	0.05	ガラス	完存	気泡有	30
42	小　玉	2.00	4.05	1.15			黄緑色 半透明	0.03	ガラス	完存	気泡有	34-1
43	小　玉	2.20	3.40	1.15			青色 半透明	0.03	ガラス	完存	気泡有	34-2
44	小　玉	1.80	2.90	0.95			青灰色 半透明	0.02	ガラス	完存	気泡有	31
	丸　玉	3.30	5.30	1.40	0.9		淡灰褐色	(0.08)	土製	2/3		32
	丸　玉	4.00	4.40				淡灰褐色	(0.04)	土製	1/2		32
	丸　玉	4.80	5.50	1.40	0.9		淡灰褐色	0.13	土製	完存		32-2
	丸　玉	4.00	5.30	1.20			淡灰褐色	0.12	土製	完存		32-3
	丸　玉	9.80	(5.00)	(0.70)			淡灰褐色	(0.23)	土製	(完存)		34-16
	丸　玉	5.10	5.00	1.40			淡灰褐色	0.14	土製	完存		34-17
	丸　玉	4.90	5.30	1.10	0.6		淡灰褐色	0.13	土製	完存		65-2
	丸　玉						淡灰褐色	(0.06)	土製	1/3		65-3
	小　玉	2.20	4.00	1.30	1.0		青色 半透明	0.04	ガラス	完存	気泡有	33-2
	小　玉	2.70	3.90	1.10			青色 半透明	0.05	ガラス	完存	気泡有	34
	小　玉	3.00	3.70	0.80			淡青灰色 半透明	0.06	ガラス	完存	気泡有	34-3
	小　玉	2.20	3.10	0.90			淡青色 半透明	0.03	ガラス	完存	気泡有	34-4
	小　玉	2.00	3.80	0.90			淡緑灰色 半透明	0.04	ガラス	完存	気泡有	34-5
	小　玉	2.60	3.20	0.70			淡緑灰色 半透明	0.04	ガラス	完存	気泡有	34-6
	小　玉	3.20	4.10	1.20			淡青色 半透明	0.07	ガラス	完存	気泡有	34-7
	小　玉	3.20	3.00	0.70			淡青色 半透明	0.05	ガラス	完存	気泡有	34-8
	小　玉	2.20	4.10	1.20			淡緑灰色 半透明	0.06	ガラス	完存	気泡有	34-9
	小　玉	2.30	3.50	1.00			淡青色 半透明	0.04	ガラス	完存	気泡有	34-10
	小　玉	2.70	2.90	0.70			淡青色 半透明	0.04	ガラス	完存	気泡有	34-11
	小　玉	2.00	3.10	0.80			青色 半透明	0.03	ガラス	完存	気泡有	34-12
	小　玉	2.90	3.40	0.70			淡緑灰色 半透明	0.06	ガラス	完存	気泡有	34-13
	小　玉	2.00	4.50	1.90			淡緑色 半透明	(0.04)	ガラス	3/4	気泡有	34-14
	小　玉	2.40	3.00	0.70			淡青色 半透明	0.03	ガラス	完存	気泡有	34-15
	小　玉	2.60	3.20	1.00			淡青灰色 半透明	0.03	ガラス	完存	気泡有	52
	小　玉	2.20	4.00	1.00			淡青色 半透明	0.05	ガラス	完存	気泡有	65
	小　玉	2.00	3.70	0.80			淡青灰色 半透明	0.04	ガラス	完存	気泡有	65-1
	小　玉	2.40	3.50	0.60			淡青灰色 半透明	0.04	ガラス	完存	気泡有	81
	不　明						淡灰色	(0.02)	?	破片		33

出土玉類表　42号墳（第44図）

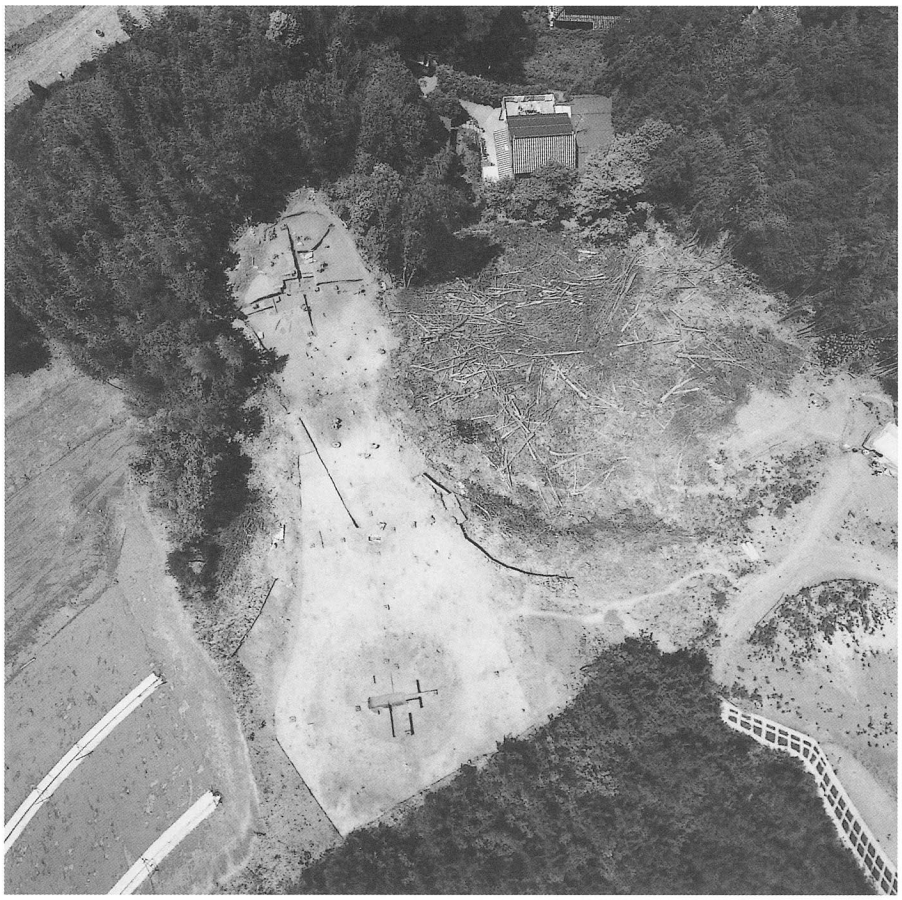
挿図番号	種類	長さ(mm)	径(mm)	孔径(mm)		穿孔	色　調	重量(g)	材質	残存状況	備考	遺物登録番号
4	切子玉	9.00	10.80	3.30		片面	透明	1.467	水晶	ほぼ完存		22
5	管　玉	11.50	5.00	2.00	1.0	片面	暗緑灰色	0.54	碧玉	完存		32
6	小　玉	7.00	8.00	1.80			濃青色 半透明	0.503	ガラス	完存	気泡有	38
7	小　玉	6.20	7.20	1.60			濃青色 半透明	0.442	ガラス	完存	気泡有	37
8	小　玉	4.80	8.50	2.10			濃青色 半透明	0.449	ガラス	完存	気泡有	24
9	小　玉	5.80	7.40	1.90			濃青色 半透明	0.46	ガラス	完存	気泡有	34
10	小　玉	5.10	7.20	2.20			濃青色 半透明	0.335	ガラス	完存	気泡有	33
11	小　玉	5.50	7.70	1.80			濃青色 半透明	0.449	ガラス	完存	気泡有	35
	小　玉	5.40	7.55	1.50			濃青色 半透明	0.4	ガラス	完存	気泡有	9
	小　玉	5.35	7.50	1.70			濃青色 半透明	0.46	ガラス	完存	気泡有	9
	小　玉	4.80	7.70	1.60			濃青色 半透明	0.4	ガラス	完存	気泡有	10
	小　玉	5.20	8.50	1.90			濃青色 半透明	0.49	ガラス	完存		23
	小　玉	4.80	8.00	1.50			濃青色 半透明	0.45	ガラス	完存		25
	小　玉	3.70	7.70	1.70			濃青色 半透明	0.32	ガラス	完存		26
	小　玉	6.00	7.30	1.10			濃青色 半透明	0.5	ガラス	完存		27
	小　玉	6.35	8.30	1.30			濃青色 半透明	0.67	ガラス	完存	気泡有	28
	小　玉	5.20	7.50	2.00			濃青色 半透明	0.4	ガラス	完存	気泡有	29
	小　玉	5.35	7.60	1.20			濃青色 半透明	0.43	ガラス	完存		30
	小　玉	5.70	8.00	1.60			濃青色 半透明	0.57	ガラス	完存		31
	小　玉	4.90	7.70	1.10			濃青色 半透明	0.44	ガラス	完存		39
	小　玉						濃青色 半透明	(0.13)	ガラス	1/3		36

図　　版

円護寺古墳群遠景（西から）

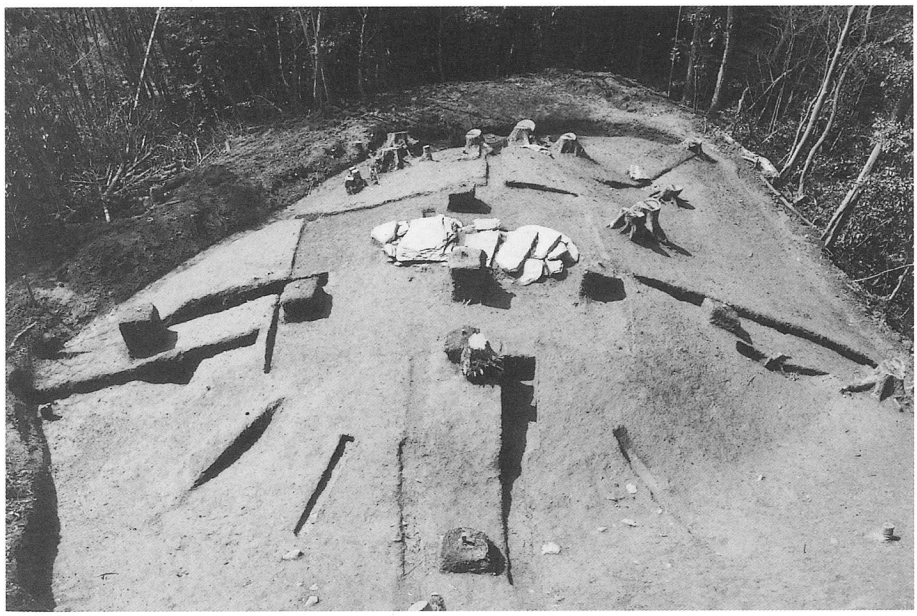
円護寺古墳群周辺航空写真（南東上空から）

図版　2



5・6・7号墳全景(航空写真)

5号墳全景(航空写真)



5号墳墳丘検出状況
（北東から）

5号墳主体部
石棺蓋検出状況（北東から）

5号墳主体部
石棺内遺物検出状況
（南西から）

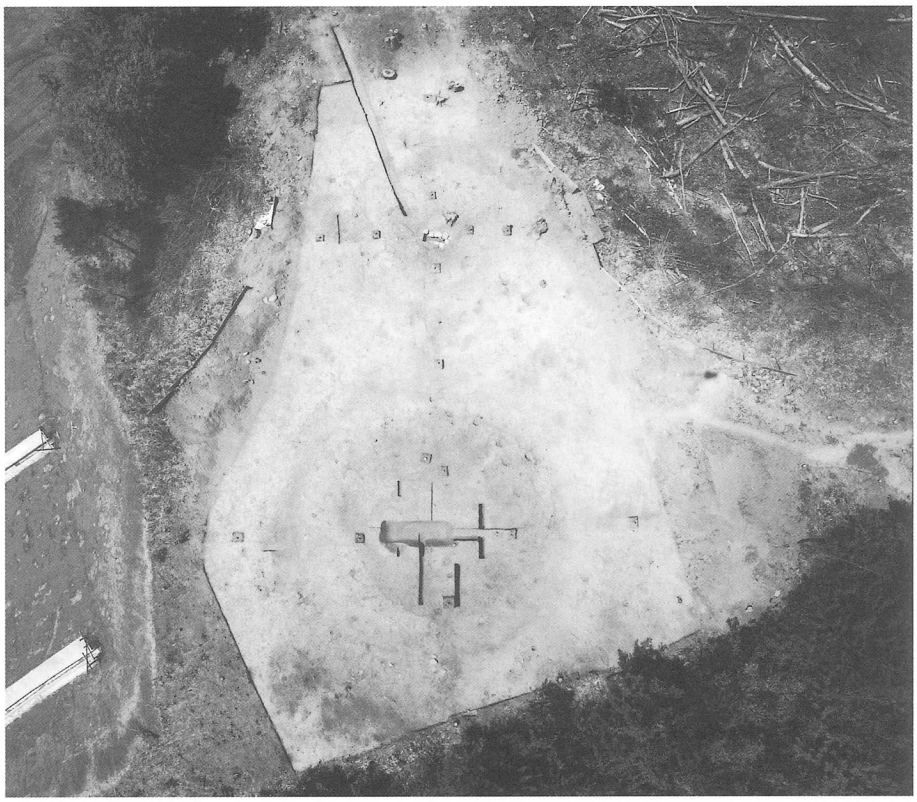
図版　4

5号墳主体部
石棺検出状況（南西から）

5号墳主体部
石棺内遺物出土状況
（北西から）

5号墳主体部
石棺内遺物出土状況
（東から）

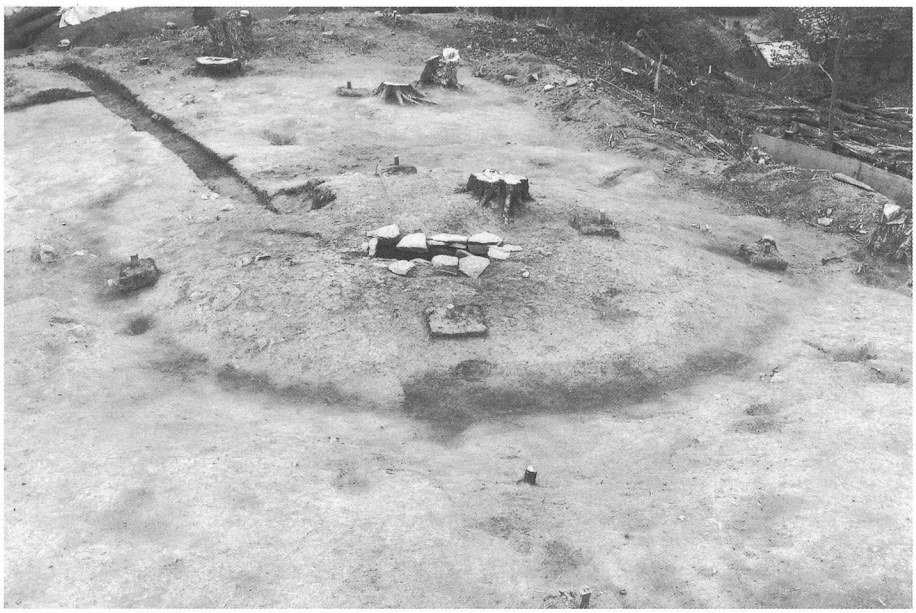
集石遺構検出状況
（北東から）



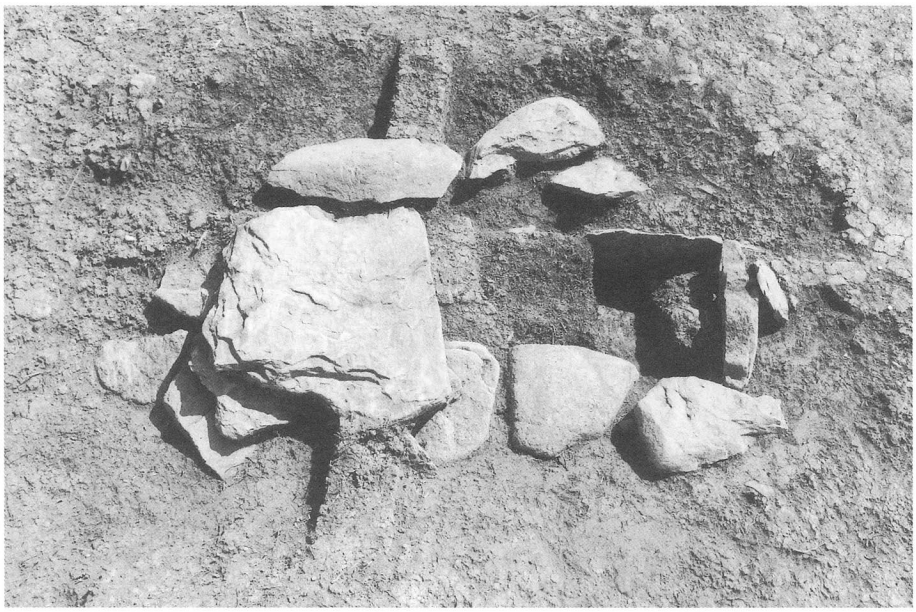
6・7号墳全景
（航空写真）

6号墳調査前（北から）

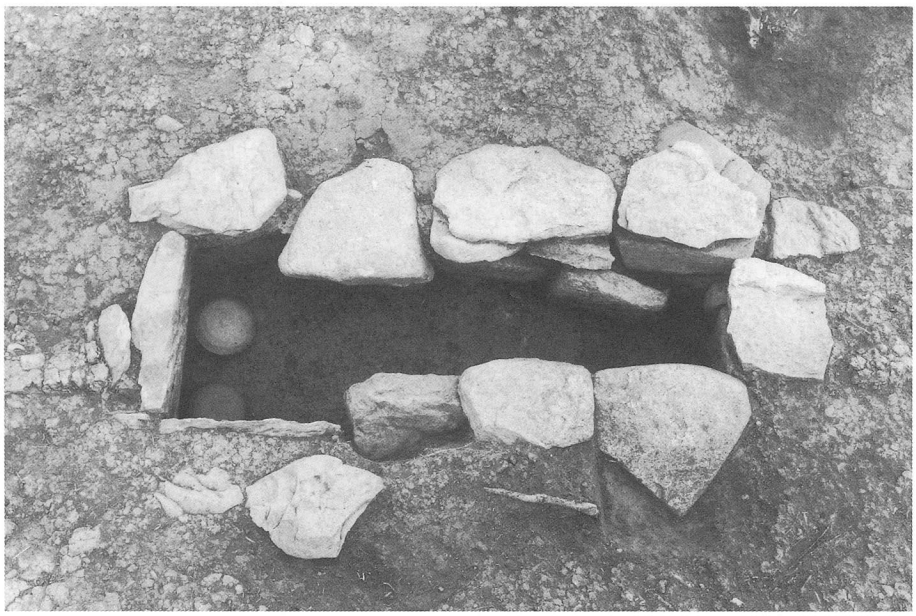
図版　6



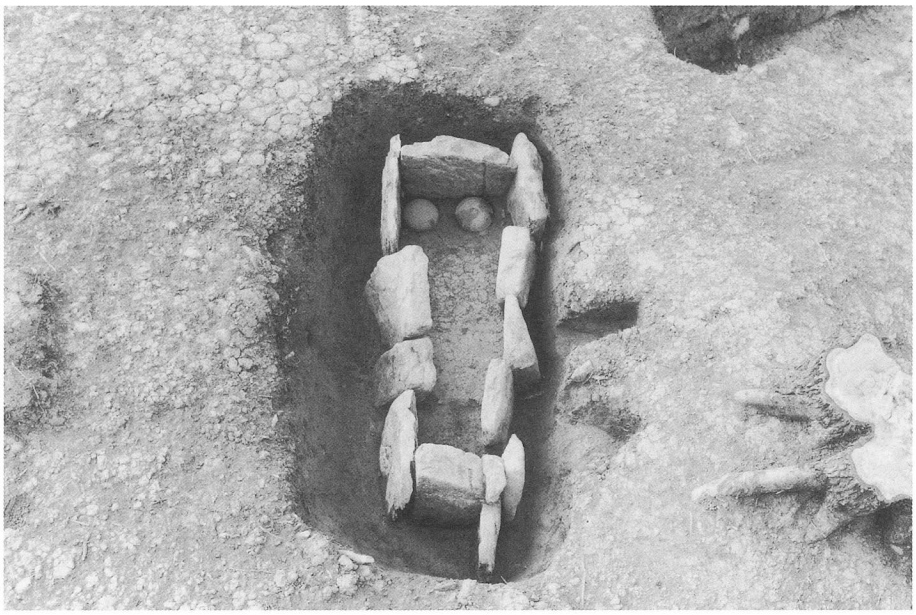
6号墳墳丘検出状況
（東から）



6号墳主体部
石棺蓋検出状況（西から）

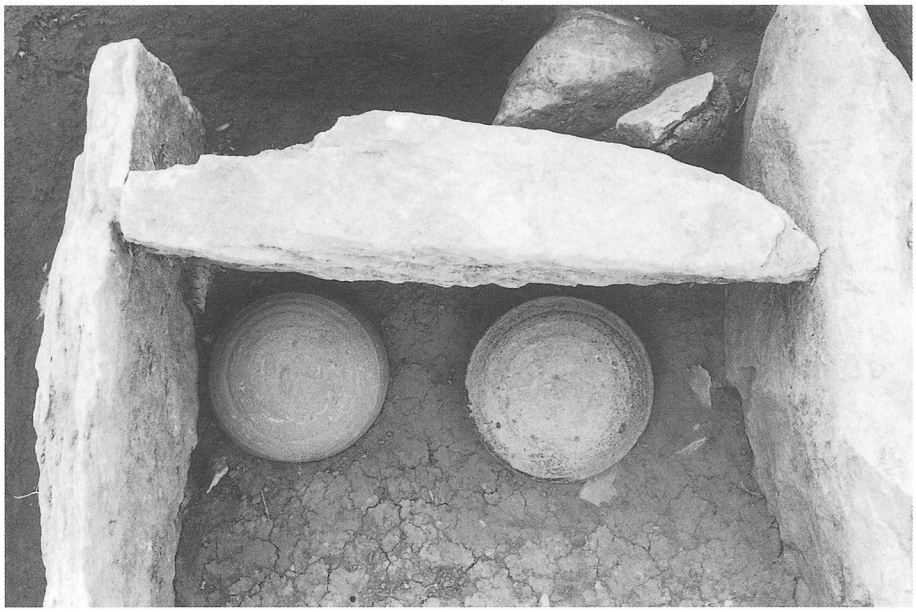


6号墳主体部
石棺検出状況（東から）



6号墳主体部
石棺検出状況（北から）

6号墳主体部石棺取上後
（東から）



6号墳主体部
石棺内遺物出土状況
（北から）

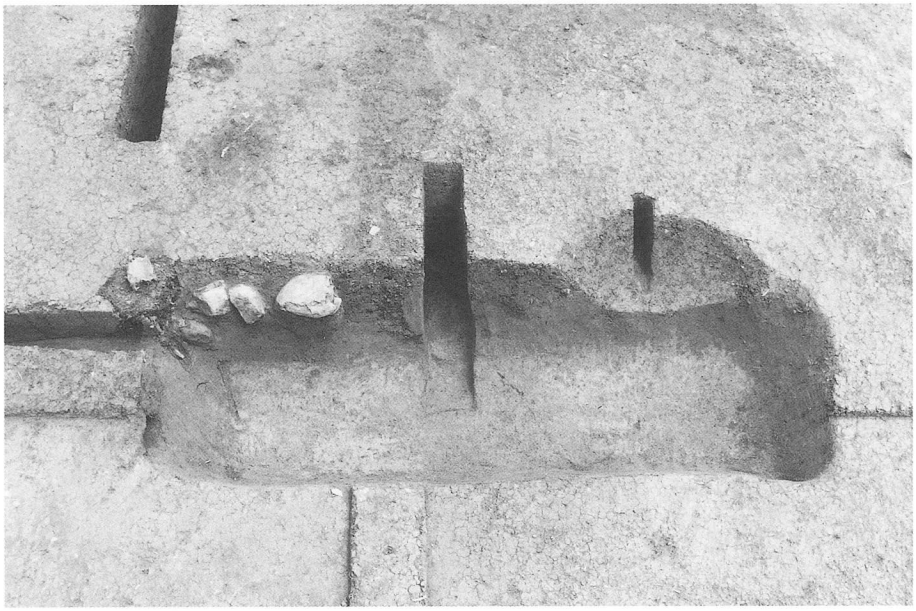
図版　8

7号墳調査前（南西から）

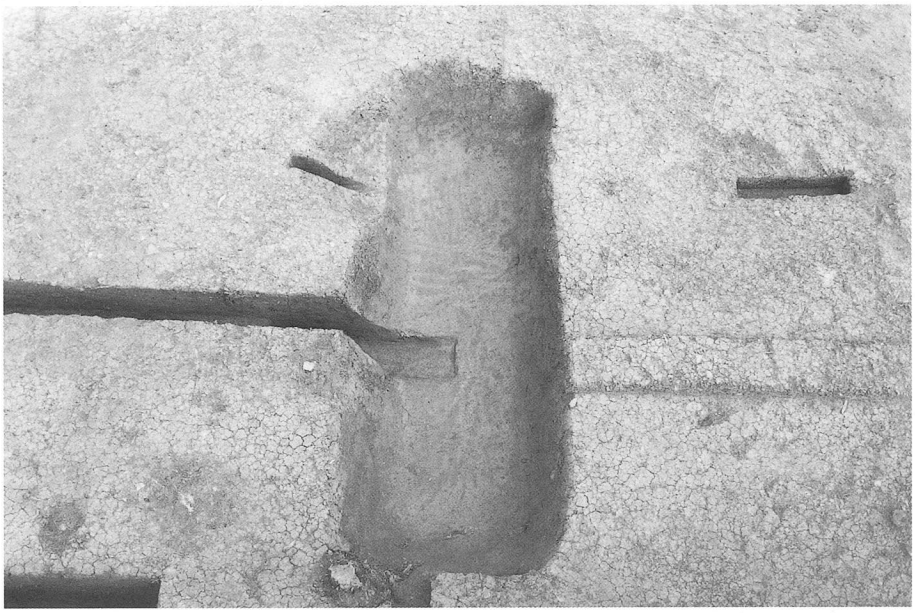
7号墳墳丘検出状況
（北西から）

7号墳周溝埋土状況
（南東から）

7号墳主体部埋土状況
（北西から）

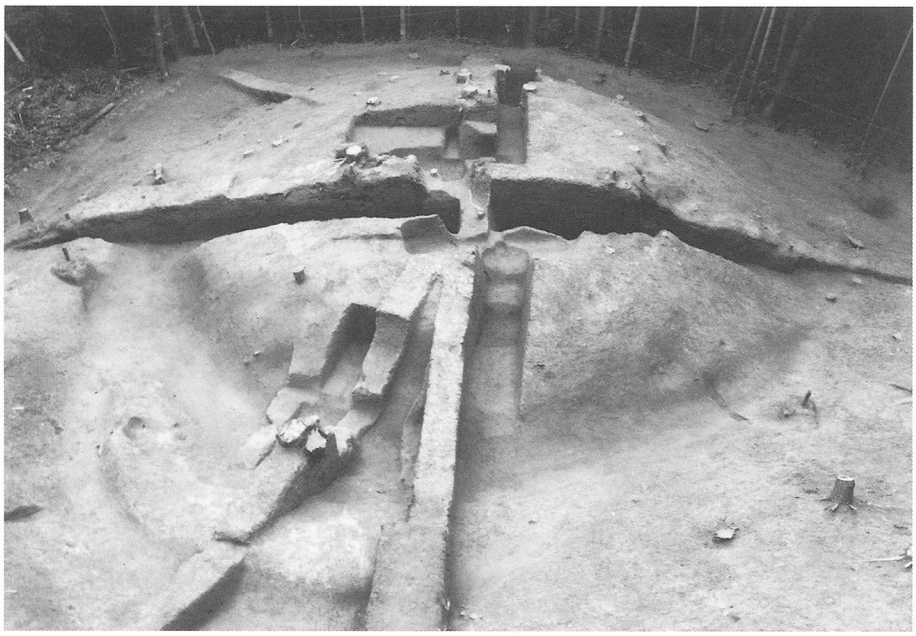


7号墳主体部検出状況
（南西から）



7号墳主体部検出状況
（北西から）

8 号墳調査前
（北東から）



8 号墳墳丘検出状況
（北東から）

8 号墳墳丘断面
（南東から）